

2023

同友しずおか 2

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」

VOL.531

私の逸品

合同会社イノチテラス

理念を共有したチームワーク抜群
のスタッフ～出逢いとお別れの間
で愛情を紡ぐ看取りの家～



～互いに支えあい、励ましあい、援けあう～

私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらった
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130 FAX/054-255-7828 E-mail/doyu@tdoyu.gr.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

静岡同友会 2022年下期景況調査 HP・e.doyuより集計冊子を配信しています



景況調査集計冊子

2022年11月から12月にかけて実施した「会員企業の景況調査」では、328社の会員の皆様からご回答を頂きました。ご協力いただき、ありがとうございました。県政策委員会と静岡大学先生方のもと集計データをまとめた冊子が左のQRコードよりご覧頂けます。(HP・e-doyu掲示板からもアクセスできます)※以下本文より結果を一部抜粋。

全 体：回復する日本経済～取り払われない閉塞感を打開する更なる「光」を～
製造業：新時代への崖っぷち、新時代価格への挑戦
建設業：労働力確保の障壁となる空気の払拭が課題
流通・卸小売業：激変する外部環境に負けない会社を人材力で創り上げる
サービス業：原材料の高騰が続く中、価格転嫁を急ぎたい
人材確保やリスクリングで企業価値を創出する

【項目】①日本経済動向、②静岡県経済動向、③調査結果概要、④業種別景気動向、⑤地域別景気動向、⑥規模別景気動向、⑦経営指針の“成文化”と“浸透” ⑧【特別調査】i. 円安、燃料高騰、原材料・仕入価格高騰の自社への影響、ii. コロナ融資(ゼロゼロ融資)の活用 iii. コロナ融資返済に関する意見や要望・金融機関へ伝えたいこと

理念を共有したチームワーク 抜群のスタッフ～出逢いとお別 れの間で愛情を紡ぐ看取りの家～

合同会社イノチテラス（静岡支部）

代表 浅原 聡子氏



イノチテラスが入居するガーデニアガーデン南安倍

看護と介護が一体となった看護 小規模多機能イノチテラス

1月中旬、静岡市の安倍川のすぐ近くにある高齢者むけマンションを訪ねました。静岡支部の浅原聡子氏が代表を務める合同会社イノチテラスが、こちらのワンフロアを借り上げ、看護小規模多機能型居宅介護、指定訪問介護、住宅型有料老人ホーム、この3つの機能をもつ施設をオープンします。通常それぞれの機能のみを持った施設が多く、利用者は複数の介護サービスを利用することが多いといえます。それぞれの機能を一元化することで、利用者はひとつの施設で完結でき、利便性とともな安心感を得ることもできます。施設には広々とした屋上があり、富士山や南アルプス、駿河湾まで眺望できます。もちろん施設内ですので安全が確保されており、散歩やリハビリに



広々とした屋上テラスは散歩やリハビリにも最適

利用できます。「ここで利用者さんとスタッフで安倍川の火花を見ることが出来た時、私はそこで初めて施設が利用者のお役にたっている実感を持ち、泣けるかもしれない」と浅原氏は語ります。

経営指針書と経営デザインシートから生まれた看取りの家

静岡市に生まれた浅原氏は1990年に看護師となり、県立こども病院で20年間勤務しました。退職後グリーンケアについて学び、2012年にグリーンカウンセラーの資格を取得。2013年に個人でグリーンカウンセリングの事業を開業し、2016年に同友会に入会しました。入会后、県経営労働委員会が主催する第14期経営指針を創る会に参加。浅原氏は経営理念・方針・10年ビジョンを作成する中で「働き方、家族の形、個人の在り方等が変容する中、これまでと同じ考え方や生き方では追いついていかない部分がある。人の生きる力を支えることや看取ることの捉え方、その土壌づくりや教育のためにもつとやれることがある」と「看取りの家」を創ることを決意します。その後同友会での勉強会をきっかけに、内閣府が推奨する経営デザインシートを作成しました。財源や実績の無い中で「どのようにすれば理想の施設を実現することができるのか？」



内覧会にむけて作ったスタッフの手作りPOP

経営指針書と経営デザインシートを持って、多くの方と会い、相談をしてきたといえます。

経営理念から生まれる チームワーク

浅原氏にとって特に大切なのは、こだわりの施設はもちろんですが、これから共に働くスタッフの皆さんの想いだといえます。オープンに向けスタッフ研修では、まず経営理念を共有することから始まります。元来、採用面接時に浅原氏の想いに共感し、入社したスタッフですらで、理念をよく理解して積極的に行動・提案をしてくれます。面接時に共感のあまり泣き出すスタッフもいたといいます。例えば、食事を出す際に暖かいご飯を食べてもらいたいので、ご飯をよそうのはキッチンではなく食堂にしたいと浅原氏がいふと、スタッフの方から「それな

ら味噌汁も食堂で入れた方がいいのでは？」と提案があったそうです。細かいひとつひとつのサービスをスタッフと共に考えていく中で、スタッフの想いと愛情を表現する施設をここから目指します。取材当日は、翌日に控えた内覧会にむけ、10名程のスタッフと準備をしていました。（※2023年1月16日（月）にオープンしました）。施設内にはスタッフによる手作りのPOPがあらこちらに掲示され、来場者をお迎えします。「理念があつて方向が明確であれば、スタッフのチームワークが良くなる。これからのオープンが楽しみです」と浅原氏は語りました。

取材・記事：藤本浩氏
（プリントバリュー株式会社・静岡支部）

合同会社イノチテラス

〒422-8054 静岡市駿河区南安倍3丁目12-1
ガーデニアガーデン南安倍2F

TEL：090-3968-1064

URL：https://nursing-agency-5044.business.site/

創業 2013年3月 設立 2020年6月

社員数 18名（社員・パート含む）

入会年月 2016年11月

事業内容 合同会社イノチテラス（介護事業）、
グリーンファウンディングivy（グリーンケアに特化したカ
ウンセリング 生と死、いのちに関するセミナー講演等）

会員訪問記

多様化する旅行のスタイルを目指して

エーストラベル(株)

土屋 信喜氏 (御殿場支部)



土屋 信喜氏

御殿場市にあるエーストラベル(株)の土屋信喜氏を訪問しました。信喜氏は2代目として父であり代表取締役社長の幸一氏から事業継承する準備のため、同友会へ入会経営について学び始めるきっかけを掴んでいましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、大打撃を受けることになりました。

コロナ禍による影響

業務は、個人むけのJTBや日

本旅行のパッケージツアーの受託、各種チケットの手配、販売を行っています。事業の柱は地域の企業、学校、町内会などの団体旅行が中心で、観光バスなどの手配を行い、幅広く地域のサポートに取り組んでいました。しかし、2020年に日本ですべてのコロナ感染者が確認され、緊急事態宣言が発令され、ツアーや個人旅行のキャンセルが相次ぎ、お客様の来店もぱったりと止まってしまいました。国から様々な助成が行われますが、コ



御殿場市に会社を構え、ツアーを提供

ナの影響が予想以上に長引き、会社存続の危機に陥ります。その間は、カタログギフトやおせち料理の取り寄せなど、新たなサービスの開拓を模索し悪戦苦闘の日々が続きました。

時間の経過と共に、Withコロナの考えが広まり、GOTOトラベルや全国旅行支援などの国の施策もあり、観光需要が回復しました。しかし、その一方でコロナ禍の影響で生じた、宿泊施設や食事処、観光バスなどが著しく減少。また、旅行会社でも、減少した雇用の影響で、受け入れ体制が弱体化し、旅行支援や渡航条件などの確認作業や手配などの業務が逼迫しており、需給バランスが保てておらず課題は山積みです。

事業継承にむけて

同友会では父であり代表取締役社長の幸一氏から引き受けて6年、コロナ禍の厳しい状況化の中、経営について具体的な話をする機会が中々取れず、完全な状況です。一方、先輩方の体験談やアドバイスを基に、多くを学ぶ機会を得ることも出来ました。土屋氏は「同友会が経営者の生の声が聴ける貴重な場です。先輩方からの学びで得たものを取り込み、活かし、事業継承できるよう準備を進めたいと思います。また、同世代が少ない環境ではありますが、つながり

を大切に、新しい仲間が増えるよう、活動にも力を入れていきたいと思っています。」といっています。

Withコロナを見据えた新たなビジョン

Withコロナ時代における旅行の在り方は、常に進化しています。私たちが住む御殿場市は、首都圏へのアクセスもよく、県内の観光客数のランキングは常に上位を保っています。「弊社ではこれまで、地元のお客様を対象とした旅行サービスを主力としてきましたが、これからは、外から来られるお客様を対象とした『着地型ツアー』にも力をいれていきたいと思っています。地元ならではの強みを生かした魅力的な商品の提供とともに、ホームページやオンライン予約などのネット環境の充実化を図り、広報の強化も行う予定です。」といっています。また、「目まぐるしく変わっていく世の中ですが、ピンチをチャンスに切り替え、チャレンジ精神を忘れずに、今後とも宿泊施設など関連業者との連携を図りながら、業界全体を盛り上げていきたいです。」と頼もしく話してくれました。



国内外の様々なツアーを取り扱う

エーストラベル(株)

〒412-0045 御殿場市川島田498-2

TEL: 0550-82-5553

設立 1995年4月

社員数 社員4名 パート2名

入会年月 2017年2月

事業内容 旅行代理業

国内、海外各種パッケージツアーの受託販売、観光バス手配、航空券、テーマパークチケット、商品券などの販売、団体旅行手配

取材: 勝又薫氏

(有)勝又造花店・御殿場支部

石山 美歌氏

(ラウンジ) ジャーラ・御殿場支部

鈴木 翔也氏

(株)トップ・御殿場支部

取材: 原稿: 片野 貴一郎氏

(株)モスク・クリエイション・御殿場支部

写真: 勝間田 誠氏

(株)文化堂・御殿場支部



思いを語る土屋氏

会員訪問記

安全を最優先に、選ばれる会社になろう

望月運輸(株)

常務取締役 鈴木雅芳氏(志太支部)



鈴木 雅芳氏

入社までの道のり

望月運輸(株)は大井川上流の井川ダムの工事に伴い、伐採した木材を清水港まで運ぶ仕事がルーツの会社です。大井川沿いの島田市横井に本社がありますが、今回の訪問先は令和2年3月に竣工した吉田物流センター。そこで指揮をとる鈴木雅芳氏を訪ねました。

鈴木氏は大学卒業後、税務や社

会保険に関連する仕事に興味があり、地元では規模が大きい税理士事務所就職しました。法人のコンサルティングなどを経験し、どんな業種であっても売上は単価×回数に細分化されることを学びました。母方の望月運輸の代表にお父様が就いたことから、後継者として遠州の大手物流会社で修行したあと、平成30年6月に望月運輸に入社しました。

望月運輸(株)の特徴

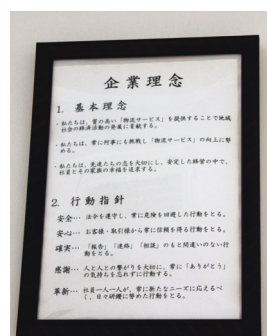
「元々、山奥の井川から木材を運搬する仕事から出発しましたので、運び方を創意工夫して困難を乗り越える文化が望月運輸にはありました。何とんでも、荷物を運びきる。そんな経験豊富なドライバーを抱えた運送会社だったようです。その伝統はクライアントの積み込み作業の軽減策と一緒に考える姿勢など、今も会社に残る部分もあります。」と鈴木氏は語ります。また、現在の望月運輸は基本理念の一文にある「先達たちの志を大切に、安定した経営の中で、社員とその家族の幸福を追求する」会社に変貌してきたといえます。その言葉どおり鈴木氏は入社後、会計事務所時代の経験を生かし、安定した経営を目標に社内のDX化に取り組みます。クラウド化からの在庫依頼データをクラウド化したうえで自社の在庫管理システムに連携する仕組みを構築したことをはじめ、ドライバの管理システムの改善などに取り組みました。

同友会との出会いと変化

松葉倉庫(株)の松葉秀氏と同業の会合で知り合い、同友会へ入会した鈴木氏。同友会で経営理念の



システム化された物流倉庫



食堂に掲げられた企業理念

大切さを学んだそうです。「父である社長も日常の判断で基本理念や行動指針に沿っているかを常に意識しています。自分も代表になった時には、自分なりの言葉で経営理念を作ることになると思います。今は同友会でその基礎を学んでいます。」と語る鈴木氏。謙虚な姿勢の中に、データに基づく経営分析を日々実践している強さを感じました。

吉田物流センターの位置づけ

「望月運輸として、物流センターへの投資は大きなチャレンジでした。コロナ禍が始まった令和2年に竣工したので不安もありましたが、扱う荷物が主に食品なので、外食から自宅に食が切り替わっただけで消費量が減らなかつたのは助かりました。しかし、これからウィズコロナで社会がどのように変貌するか分かりません。数年後のことを考えると不安ばかりです。そんな中、望月運輸の特徴である安全を第一にすえ、クライアントから選ばれる会社であり続けることで、困難は乗り越えられると思っています。これからも運輸業の発展と地域社会のお役に立てる会社を目指して、望月運輸

望月運輸(株)

本社：〒427-0024 島田市横井2-26-15
吉田物流センター：〒421-0303 吉田町片岡432-1
TEL：0547-35-5171 (本社)
URL：https://www.mochizuki-unyu.com/
設立 1967年
社員数 75名(うちパート15名)
入会年月 2019年2月
事業内容 一般貨物自動車運送事業
貨物利用運送事業 倉庫業

取材・原稿：村松繁氏
(アイマーク(株)・志太支部)



ウサギが跳ねる物流センター

静岡大学連携講座

県知事・副知事へ 新年挨拶

1月10日（火）静岡県庁にて、川勝知事をはじめ、出野副知事、森副知事へ新年の挨拶を行いました。同友会からは、井上代表・簗代表・松葉代表と、秋山事務局長が訪問しました。同友会の企業づくりの根幹「人を生かす経営」を進め、人への投資、地域と連携を通じて、企業を守り地域を守る企業をめざしていくことを伝えました。川勝知事からは、外部環境の変化で苦しむ中小企業への支援、人的投資に取り組む企業の成長・発展への期待をお話頂きました。本年も中小企業・小規模企業振興会議への継続的な関わりをはじめ、県行政への政策要望や意見交換会を通して、「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」の発展にむけて取り組んでいきます。



第11講

12月21日（水）

生きることは食えること

～未来に繋がる会社経営～

講師：小川 友代氏

（株）仕出しおがわ・富士支部

富士市で給食弁当の製造及び宅配を行う（株）仕出しおがわ。2017年にご主人が急逝したことで経営者の道を歩むことになった小川氏。従来の仕出し事業に加え、高齢化社会に対応し、ごはんの減量やおかゆ変更など個別に対応できる「シルバー弁当」をスタートしました。地域の高齢者の見守りも兼ねて配達しています。さらに「安全・安心なお弁当をいつでも届けられるようにしたい」と2023年1月から冷凍惣菜の新規事業も始め、ゆくゆくは社員のために工場を広い場所に移転したいと未来像を語りました。最後に「食べ方はその人の生き方そのもの。自分の食を大切にして、自分の人生を大切にしてほしい」と話しました。

第13講

1月11日（水）

人生を豊かに

講師：大和多 宏明氏

（有）セイシンメタルプロ・静岡支部

静岡市で鉄工業、建築鉄骨、金物、テナント倉庫、ステンレス・アルミ加工を営む（有）セイシンメタルプロ。大和多氏は25歳で入社し、47歳で代表取締役役に就任。

プロ意識を持って仕事をするを大切に

にしており「どこの会社に行っても通用する社員になってもらいたい」とスキルアップの勉強会に社員を積極的に参加させています。また、目標や反省を共有する懇親の機会を設け、社員と率直に話し合える時間も作っています。2022年からは従来の事業に加え、どなたでも参加が可能なDIY教室事業を始めました。また、仕事の魅力を地域に発信するため、小中学校のキャリア教育にも関わっています。ものづくりの楽しさ、かつこよく働いている大人の姿を見せ、子どもたちに将来を楽しく描いてもらいたいと語ります。最後に学生にむけ、「楽しんで仕事をしてほしい」「今やりたいことがなくても焦る必要はない、これから様々なことを経験して見つけてください」とメッセージを送りました。

第14講

1月18日（水）

伝統文化を継承するということ

講師：長澤 宗範氏

（長澤瓦商店（株）・静岡支部）

静岡市清水区で瓦・屋根工事や瓦小物・アクセサリーの販売を行う長澤瓦商店（株）。2018年に父から事業を受け継ぐも経営状態の悪化に悩んでいた長澤氏。転機は2017年、同友会に入会し経営方針を作成したことでした。2019年にはご息女が入社、瓦アクセサリーの製

作など瓦のブランディングに取り組んでいます。「時代に合わせた瓦の魅力を伝え、清水瓦を復興して地域を盛り上げていきたい」と語り、最後に「様々な経験を積んで、人に与えられるような人間になってほしい」と学生に伝えました。

第15講（最終講）

1月25日（水）

NO NUKES—ヨキの海は忘れない

講師：杉村 征郎氏

（杉村精工（株）・志太支部）

杉村氏が平和への想いを強めたのは、中学生の時に起きた第五福竜丸被ばく事件でした。アメリカによる水爆実験で被ばくした第五福竜丸が焼津港に帰港してからの様子を目の当たりにした同氏は、仲間と共に「原水爆反対」署名活動を開始。この活動は全国各地で行われましたが、日米政府間の水面下でのやり取りや政治的な問題から、徐々に「ビキニ事件」を語ることがタブーとなり、被害者である乗組員たちが町を去らなければならぬ状況にまでなっていました。時を経て、全国から集まった原水爆禁止3000万署名活動の成果により、世界の人々が原水爆の被ばく者の窮状を知ることとなり、2021年1月に発効された「核兵器禁止条約」へと繋がりました。最後に同氏は「自分の力で考え、事実を知り、他からも自らにも騙されない力をつけてほしい」と学生に伝えました。

富士宮支部新春例会を開催

役員一丸となつて今期170名達成を目指す

1月19日(木) オブリック(株)4F COMFORT HALL&ZOOM

1月19日(木)に富士宮支部新春例会を開催。ドラマ「ファーストペンギン」の原作者でドラマのモデルとなった坪内知佳氏

(株)GHI BLI・代表取締役)を講師に招き、他県・他支部会員やオブザーバーを含め総勢約140名が参加しました。今回の例会は「仲間づくり」を目的とし、「今期支部会員数170名達成」(1月現在160名)を目標に掲げ伊藤洋子支部長(株)シーエーティー)を中心に役員・会員が声をかけを行いました。当日は28名のオブザーバーが参加、紹介者・役員が一人ひとりに寄り添いながら会員と名刺交換を行うなど、ゲストを迎え入れる暖かい雰囲気と活気にあふれる例会となりました。

講演では、朝獲れの魚を消費地の顧客に直接届ける「鮮魚BOX」で水産業の6次産業化モデルの先進事例を作りあげた坪内氏の現在の取り組みをお話いただきました。「50年後の島の豊かな未来と美味しい日本食文化を未来へ継承する」ことを理念に掲げ「そのためには魚だけ獲っていればいいわけじゃない」と、旅行業や講演業、オンライン留学、パールアクセサリーブランドなど様々な事業を立ち上げ、挑戦と進化を続けてきました。山口県萩市大島の漁業から始まった船団丸事業は全国12カ所に拠点を増やし、新鮮で安心な海の恵みを全国に届けています。また、「自分が後悔しない

よう地道に取り組んできた結果今がある。毎日1%でも変わることが大切」と話しました。

講演後の宇佐美健介氏(株)エージェントうさみ)からの謝辞では「サハラ砂漠に吹く熱風を意味するGHI BLIさながら富士宮に熱い風が吹いた例会となった。過去最高のオブザーバー参加数を実現できたのも、支部長を中心みんなの想いが集まって大きな力になったからこそ。」と伝え、坪内氏からは「必ず170名を達成してください」とエールが送られました。

例会後は、紹介者・役員が協力しあいながらオブザーバーをお礼訪問し「ぜひ共に学びあう仲間になってほしい」ことを熱意をもって伝えました。その結果、1月は早速2名の入会があり、2月には6名の入会が既に決まっています。170名を目前に、富士宮支部一丸となつて仲間づくりに取り組みんでいます。



熱気あふれる会場

浜松支部1月例会 会員60名達成の契機に

金融機関との連携を深め、地域で輝く企業を目指す

1月12日(木) ザザシティ浜松中央館&ZOOM

1月浜松例会は浜松いわた信用金庫の三輪久夫専務理事が登壇。「伴走型支援」をテーマに講演いただきました。当日は会員・ゲスト含めて38名が参加し、2022年度の浜松例会では最多の参加者数となりました。

三輪氏からは浜松いわた信用金庫の取り組みや地域金融機関としての信用金庫の役割、伴走型支援への理解や取り組みについてお話しいただきました。その中でも、地域との繋がりがや地元企業と連携した店舗づくり、積極的な社員教育への投資・取り組みを紹介。「地域に根ざす金融機関として、金融業としての役割だけでなく地域の課題を地域の皆さんと共に解決することを目指していく」と力強くお話しいただきました。

講演後は「信用金庫との関わり、信用金庫に求めること」をテーマにグループ討論を実施。中小企業1社では解決できない課題を金融機関と対話しながら進めることの重要性を再確認する時間となりました。参加者からは「今回の例会をきっかけに浜松支部としても金融機関との連携を強化していきたい」「困った時に話をするだけでなく、日常的な対話をしていきたい」などの

声がかれました。

また、当日参加した入会候補のゲスト6名のうち、2名からその場で入会申込書を提出いただきました。浜松支部では2022年度、支部会員数60名を目標に掲げ、現在は46名(2022年度期首会員数41名)。残り2ヶ月での目標達成に向け、役員中心に支部一丸体制で「明るく、屈託なく、最後まで」仲間づくりに取り組んでいきます。



金融機関との連携の重要性を共有

2月・3月

DOYU CALENDAR

2月16日(木)～3月15日(水)

2月 16日(木)	富士例会 (19:00 富士市交流プラザ&ZOOM) 榛南例会 (19:00 牧之原市商工会&ZOOM) 中遠例会 (19:00 磐田市総合健康福祉会館 (iプラザ))
17日(金)	県青年部例会 (18:00 レイアアップ御幸町ビル)
20日(月)	県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM)
21日(火)	伊東例会 (19:00 伊東商工会議所&ZOOM)
22日(水)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) 県組織増強委員会 (17:15 同友会事務局&ZOOM)
24日(金)	公正取引委員会 (中部事務所) との懇談会 (13:30 同友会事務局) イントロセミナー (19:00 同友会事務局&ZOOM)
27日(月)	三島例会 (19:00 未定)
28日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)
3月 2日(木)	第53回中小企業問題全国研究集会in長野 (～3日) (13:00 ホテルメトロポリタン長野ほか)
7日(火)	県広報情報化委員会 (19:00 同友会事務局&ZOOM)

8日(水)	御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア&ZOOM)
9日(木)	連合静岡との懇談会 (13:30 同友会事務局&ZOOM) 正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) 浜松例会 (19:00 浜松こども館 ザザシティ浜松中央館 &ZOOM)
10日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店&ZOOM)
13日(月)	県共育委員会 (18:30 ZOOM)
14日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート・清水テルサ &ZOOM)
15日(水)	伊東例会 (19:00 未定) 沼津例会 (19:00 未定) 志太例会 (19:00 未定)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1063 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
はっとり 服部 伸也	(株)色八屋 広告代理事業	富士	大竹 政彦
おだり え こ 小田 梨恵子	(株)エコキャリ カウンセリング、キャリアコンサルティング、研修講師	富士宮	穂坂 勝彦
みずたに しょうへい 水谷 昌平	水谷商店 鯉節、桜えび、しらすの製造販売	富士宮	渡邊 卓
せ ざき ゆう こ 瀬崎 祐子	らぼーる鍼灸院 鍼灸施術、サプリ販売	浜松	江間 省豪
や の たま み 矢野 珠美	GEM Promotions フルオーダージュエリー製作、販売、ジュエリーリフォーム、リノベーション、各種イベントプロデュース、司会	浜松	河西千代子

名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
い で たつ み 井出 達視	(株)会館志ほ川 そば、うどん、和食等の調理及び接客	富士宮	塩川 拳三

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



小野 杜俊氏

部(が)報告し
ます。ぜひお
知り合いの経
営者にご参加
ください！

1月イントロセミナー
社員や仲間とともに困難を乗り越え、オノケンの挑戦が始まる
1月27日(金) 同友会会議室&ZOOM

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。1月は会員・オブザーバー合わせて26名が参加。静岡市清水区で塗装業を営む小野杜俊氏(オノケン材塗装(株)代表取締役/静岡支部)が報告しました。小野氏は本年度、第19期経営指針を創る会を受講しました。経営指針作成にむけ悩みながらも仲間と共に学びあう最中、静岡県に甚大な被害をもたらした台風15号により本社工場が被災。床上約15mの浸水被害でした。小野氏が会社社にむかうと設備の浸水はじめ、床一面に土砂や泥水、塗料が溜まっている状況でした。そんな中、社員が自主的に出社。「社長、どこからやりますか？」と片付けをはじめました。社員の前向きな言葉と姿勢に本当に支えられたと話しました。最後にオノケンの挑戦は「地域を笑顔に塗り替える活動をしていくこと」と力強く語りました。当日、オブザーバー1名が入会を表明。新しい仲間を迎える機会になりました。

次回は2月24日(金)、望月正洋氏(株)イハラテント工業 代表取締役/静岡支部)が報告します。